![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　平成２８年６月号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　園長　平澤　正則

ＰＴＡを考える

　茨城県私立幼稚園連合会土浦ブロックのＰＴＡ会長会議が7月7日（木），土浦市下高津にありますもみじ幼稚園内で行われます。毎年本園でも会長さんと私の２名が出席しております。そのため，会長さんにはわざわざ仕事を休んでいただくなどして恐縮しております。土浦地区には加盟幼稚園が３３園ありますが，出席しているのは私が知っているこの２年間ではそれぞれ半数程度の園です。それほど出席率が高いわけでもない会議にわざわざ仕事を休んでまで出席してもらわなくてもいいのかもしれないと毎年私の頭の中で葛藤があるのですが，結局，できれば出席していただきたいと会長さんにはお願いしています。そうまでして出席する理由の一つは，こういう団体を取りまとめる人の立場になって考えると，様々な提案や相談事，依頼事は直接会ったときにきちんとしたいものですので，やはり行った方がいいかなと思うわけです。半ば“つきあい”のような感覚でもありますが，私はこの“つきあい”が大切だとも思っています。それともう一つは，行けば何か得るものがあるように思えるからです。得るものが何かは行かなければわかりませんし，たいしたものが待っているわけではないとしても，自分の見聞を広めるためにはやはり行ってみなければわからないという曖昧な理由によるものです。

　さて，6月25日（土）石岡市ＰＴＡ連絡協議会の研修会で少し話をしなければならない機会があり，ここ2週間くらいＰＴＡについての最新情報を集めているところなのですが，先日ネットの記事の中に「ＰＴＡの課題」というのを見つけました。その課題の中で私があれっ？と思ったことが３つありました。まず，「労力に対する成果のなさ」について。『せっかく仕事を休んでまで参加したのに別に面白くも楽しくもない会合だった。』ということなのでしょうか。確かに面白い，楽しいことは良いことですが，しかし，最大の目的は「子どもたちをみんなでどうするか。」「子どもの教育に周囲の大人は何ができるか」ということですから，その成果は今すぐに目にみえるものではないと考えるべきではないでしょうか。二つ目の課題としてあったのは，「強制加入の問題」です。いうまでもなくＰＴＡへの加入は任意です。しかし，ここで考えなくてはならないことは，自分の子どもの成長が自分の家庭の中だけで行われているわけではないということです。他の子どもたちやその家庭・地域の中で互いに密接に絡まり合って成長していくのが人間社会に生きる者の宿命です。自分を取り巻く環境から逃げたり，関わらずに生きていくことはできないということです。三つ目の課題としてあったのは，「財政的な問題」で，つまり，ＰＴＡ費を学校運営に流用する自治体があるとのことです。確かに公的機関である学校にかかる費用は全部税金で賄われれば理想的ですが，しかし，ＰＴＡ会費のおかげで教室に冷暖房設備が整ったなどの事例がたくさんあります。本県の県立高校の９７校中６１校のエアコンがその恩恵に浴しているそうです。洋式トイレの２５％もそのようです。

欲を言えばきりがない。改善点が常にあるというのが人間社会です。子育てにかかわる人は，ＰＴＡにも一つ一つ丁寧に取り組んでいくしかないのではないでしょうか。

水ナスを育ててみませんか

水ナスの苗４０本が配れる状態になってきました。６月２７日（月）～７月１日（金）まで配付いたします。希望する方は園長又は担任の先生まで必要数をお申し出ください。なくなり次第終了となります。